

平成24年度事業報告（案）

1. 概要

平成24年度は事業計画に沿った活動を実施し、会員並びに国内外関係者の期待に概ね応えうる成果を得た。民間助成活動では、「山川海をつなぐ水環境と生態系サービスの保全・回復に関する調査研究」を行い、相応の成果をあげた。本調査研究は3年間継続を予定する事業の初年度で、過去3年間の調査研究を継承する事業である。この研究成果をまとめ、図書として発刊する予定で準備を進めている。

また、「海の森づくり事業」の名称で千葉県南房総市および三重県度会郡南伊勢町においてコンブ増殖試験を検討、実施した。

平成25年3月31日時点での会員構成は、正会員19団体、賛助会員の個人会員8名である。

今期は理事会を4回、通常総会を2回、運営委員会を6回開催し、運営全般について審議を行った。

2. 自主調査研究事業

(1) 海の森づくり事業

「海の森づくり」をテーマとし、コンブ増殖事業試験を行った。千葉県南房総市および三重県度会郡南伊勢町においてコンブ増殖試験を検討、実施し、コンブの繁茂と生物蛸集効果の成果を得た。本事業は25年度も継続する調査研究事業とし、実施することとする。本事業はコンブ育成により、食物の生産以外に生態系の構築、水産業を含む地域経済の発展、食品としての流通経路の確保、バイオエタノール抽出による新エネルギーの創出、海中の二酸化炭素の吸収による地球環境の改善といったことを今後の課題として研究するものである。

(2) 中小企業家同友会との共同セミナーの実施

中小企業家同友会の協力を得て、中小企業家向けの事業紹介、意見交換を持つ場の提供を主眼とした共同セミナーを実施し、当協会からも協会事業と共に海洋開発の将来について発表を行った。

(3) 新たなコンクリートバージの活用に関する研究会の実施

既存技術を応用し、コンクリートバージを用いたエネルギープラント、水浄化施設、洋上養殖施設等を組み合わせた構造物の設計、施工から利用迄を検討する委員会を立ち上げ、研究会を実施した。

3. 助成・依託事業

(1) 河川整備基金助成事業

公益財団法人河川財団の河川整備基金助成による「山川海をつなぐ水環境と生態系サービスの保全・回復に関する調査研究」委員会を5回行った。今年度は課題を検討するため、治水と森林を研究フィールドとする研究者から、水管理の現状と課題及び水環境改善への対策事例の報告を受けた。事例研究報告として日本国内の治水評価と森林に降る雨、雪等の水流出について紹介され、今後の持続可能な水質環境へのあり方のための方策を検討した。

本事業で得た成果は過去3年間の研究と併せ、平成25年度中に図書として刊行する予定で、関係者と共に準備を行っている。

4. 国際情報活動

(1) VIJA TECH CO. 社との事業協力

当協会会員企業のVIJA TECH CO. 社と共同し、ベトナムの港湾開発計画の検討、プラン作成等事業に対し検討会をもった。今後も定期的に検討会を開催することで、事業協力を行うこととした。

5. 広報

当協会事業活動報告として、ホームページを改編し協会活動の広報として掲示した。

6. その他

(1) 日本海洋工学会との事業活動

海洋に関連する行事に積極的に参加、協力、援助を行う協会の活動趣旨に沿って、日本海洋工学会（下記の9学会の関係者で組織された任意団体）が実施している海洋工学パネルの事務局を務めた。本年度の第43回海洋工学パネルを平成25年1月29日に開催した。

また、日本海洋工学会と日本船舶海洋工学会が共同主催する「第23回海洋工学シンポジウム」を8月2、3日に開催し、事務局として参加した。

日本海洋工学会加盟学会（9学会）

特定非営利活動法人海洋音響学会、海洋調査技術学会、一般社団法人資源・素材学会、石油技術協会、公益社団法人土木学会、日本沿岸域学会、一般社団法人日本建築学会、日本水産工学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会